

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動論Ⅲ（健康課題別）講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	川村泰子・藤田 碧・熊澤由美子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

人々の健康・生活を護るために地域で展開される対象別、課題別の活動の考え方や方法について学ぶ。また、人々の健康及び生活の現状と、関連する各種関係法規、施策、社会資源等を、対象別に体系的に学ぶ。

【到達目標】

1. 障害や難病による生きづらさと共に生きる人々が経験しがちな困難について説明できる。
2. 地域共生社会の理念と実現のために必要な地域のシステムについて考え、説明できる。
3. 疾患や障害の特性を踏まえ、個人を尊重した支援の在り方について理解し考えることができる。
4. 障害者総合支援法をはじめとした支援制度と社会資源について理解できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 地域共生社会の実現とそのための理念 主要な制度の変遷とこれまでの動向（川村）
- 第2回 リスクを抱える人々への保健活動（1）精神保健活動の実際（川村）
- 第3回 リスクを抱える人々への保健活動（2）対象の理解（川村）
- 第4回 リスクを抱える人々への保健活動（3）障害者総合支援法と地域の支援体制の構築（川村）
- 第5回 リスクを抱える人々への保健活動（4）障害者（児）を対象とした保健活動（川村）
- 第6回 リスクを抱える人々への保健活動（5）社会病理を背景とする健康課題と支援（熊澤）
- 第7回 リスクを抱える人々への保健活動（6）難病対策の歴史的変遷と保健師活動（藤田）
- 第8回 リスクを抱える人々への保健活動（7）難病対策 地域における難病患者への支援（藤田）
- 第9回 健康危機管理状況にある人々への支援（1）災害時のメンタルヘルス対策（藤田）
- 第10回 健康危機管理状況にある人々への支援（2）感染症対策の変遷と現行の制度、今後の動向（藤田）
- 第11回 健康危機管理状況にある人々への支援（3）感染症予防と保健活動（藤田）
- 第12回 健康危機管理状況にある人々への支援（4）疾病管理—結核の制度・発生時の対応（藤田）
- 第13回 健康危機管理状況にある人々への支援（5）積極的疫学調査〔演習〕（川村・藤田）
- 第14回 健康危機管理状況にある人々への支援（4）主要な感染症対策 麻疹・風疹・肝炎（藤田）
- 第15回 地域歯科保健対策（藤田）

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

精神保健福祉・難病保健福祉・社会保障・感染症看護に関連する科目および公衆衛生看護学のすべての科目・実習

【教科書等】

最新保健学講座3 公衆衛生看護活動論①, メヂカルフレンド社, 2020.

厚生統計協会：国民衛生の動向 2025/2026, 2025年8月

【参考文献】

小川一枝・小倉郎子：難病の保健師研修テキスト, 東京都医学総合研究所, 2017

厚生労働省：感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引き（改訂第6版）, 2022

【成績評価方法】

受講態度、リフレクションペーパー等（5%）、提出課題（10%）、定期試験の成績（85%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

いずれの教員も、行政での保健師経験や、社会貢献としての当事者グループ支援、支援者支援などを行っている。各自の経験を活かした授業や演習を実施する。

【学生へのメッセージ】

既習科目および実習と関連付けて主体的に授業に臨みましょう。

社会の動きは人々の健康と大きなかわりを持っています。ニュース等は毎日視聴し社会で起きている出来事に関心を持つことが不可欠です。